

家庭数で配布しています
PTA会員の皆様へ

平成27年7月2日
杉並区立浜田山小学校PTA
会長 佐々木 孝信

第3回 常任委員会報告書

日時 / 場所 : 平成27年6月25日(木) 9:45~ 於: 視聴覚室

司会者 : 内副会長 佐々木 審菜

出席者 : 校長三井知之、副校長篠原基弘、常任委員21名(委任状2)

会長挨拶

お忙しい中お集り頂きまして、ありがとうございました。6月に入り、夏休みまで1ヶ月をきました。これまで、運動会、PTA総会と大きな行事がありました。お疲れさまでした。

校長先生ご挨拶

総会では、多数のご参加ありがとうございました。運動会では、PTAの方々にご協力いただきまして、お陰様でいい運動会になりました。5年生の富士学園では、しっかりと集団行動を守ろうと子供達は頑張っていました。プール開きが行われましたが、安全第一で進めさせていただきます。

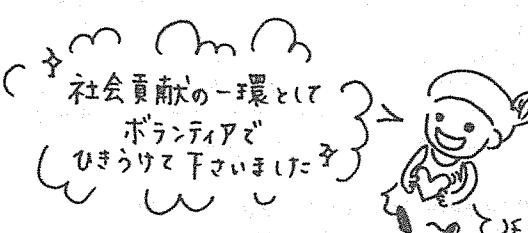
副校長先生ご挨拶・連絡事項

運動会では、保護者の皆様のご協力ありがとうございました。これから保護者会、7月1日より、南校舎のトイレ改修工事が始まります。夏休み中は、学校側のトイレ改修工事をしますので、その際は南校舎のトイレをお使いください。

会議事項・活動報告

【会長】

- ①6月11日、地域専門委員会出席
- ②警備会社による浜田山公園のパトロール依頼
- ③キャブテン会議出席
- ④浜パパの同好会見送り
- ⑤杉並和泉学園の祝賀会出席予定



【内副会長】

- ①7月11日(土)役員企画「国境なき医師団」詳細説明 担当者と打ち合わせ済み
- ②役員会新3役紹介 委員長: 中村 ゆみ、書記: 尼留 彩
- ③サポートチームへの依頼方法の説明

お知らせです

★7月11日(土)役員企画 「国境なき医師団」を知っていますか?

①8:40~(1~3年生向け) / ②9:30~(4~6年生向け)

貴重なお話を聞ける機会ですので、保護者の方もお誘い合わせの上ご参加ください。

★7月11日(土)コーラス部 さくら 「第13回 poco a pocoコンサート」

14:30~(14:00開始) セシオン杉並ホールにて

【P協副会長】

P協役員として報告

①校長会3役との懇談会…6月17日(水)

「参加してみて、いじめ、情報モラル教育など、問題によっては区、学校に要望するだけでなく、家庭での教育や、保護者の知識も大事だなと思いました。」

②P協研修会「特別支援教育について」…7月10日(金) セシオン杉並にて(PTA役員向け)。

「杉並区ではとの計画に基づき、H28年度以降、順次、特別支援教室が全小学校に設置されます。皆さんも問題意識を持っていただけたらと思います。」

【庶務】

コピー機使用上注意説明

【学級委員会】

■クラス活動費の使い方、出納長の書き方について説明。

1年間で学級委員が管理するクラス活動費3500円を配布する。使用の目的、出納長の書き方を具体的に説明。

■学級委員会開催時期について提案

平日午前中に行っていいた委員会に出席が難しい学級委員を考慮し、土曜授業の日に開催することも視野に入れていいくことを提案。

【教養委員会】

■6月23日(火)教養企画「ゆる片づけ」で毎日こぎれいな部屋を作る方法 無事終了

「84名の参加がありました。キッズスペースを設けたことで、幼児連れの保護者の方が数名参加してくださいました。より多くの方に開かれた企画であったと思います。」

■2学期に第2回教養企画を行うべく、準備中。

■2学期の図書選定に向け、準備中。

■今年度の同好会費の配布完了。

【広報委員会】

■広報誌作成

・1号誌: 運動会の写真撮影が無事終了し、目下、1学期終業式前の発行に向け、メンバーが頑張っています。

・2号誌: 撮影、取材開始しました。

【 役員委員会 】

- 今年度の役員選出活動準備を開始。7月配布予定の「経験確認表提出のお願い」について、委員会にて詳細検討。
- 1年生学級集会にて、2学期より始まる「役員8役、校外3役選出活動」について告知、ご出席の皆様にご協力を仰ぐ。

【 校外委員会 】

- 「地区班のしおり」改訂の差し替え作業、配布を完了。
- 六分区地域専門委員会を6月11日視聴覚室にて開催。
「パトロール等について話し合いをしました。活発に意見交換のある有意義な会となりました。」
- 子供会、ラジオ体操のご協力をお願いします。



【第2回常任委員会持ち帰り協議事項】PTA活動セシオン杉並への交通費支給(8役)

(提案内容)
セシオン杉並へは、安全面も考慮し、自転車移動を原則とせず公共交通機関を利用した場合は、交通費の請求を可能にしたいと思います。

各委員会の持ち帰り協議の結果、全委員会で賛成された旨の報告あり。

→ 提案承認

請求の際は適正な目的、ルートであることが確認出来るように専用の交通費明細書を請求書とともに提出してください。



総会へのご参加、運動会のお手伝いありがとうございました。校長先生を始め先生方からは、多くの方のご協力を得てスムーズな後片付けが出来たとのお言葉を頂きました。今年度は、先生方、役員がユニフォームを着用していましたが、目立つし質問もしやすかったとの意見がありました。好評だったミストは、協議の邪魔にならないようタイミングを改善するなどして、学校側との協力のもと、来年度も使用したいと考えています。また、脚立での撮影について、危ないと言った多くの意見を頂きました。来年度以降の使用を検討したいと思います。

来る7月11日(土)1・2時間目に開催予定の役員企画「国境なき医師団を知っていますか?」に関連して、「国境なき医師団(MSF)」日本会長・外科医の黒崎伸子さんの文章をご紹介します。

医療のない地域で医療援助をおこなう

医療の不十分な地域で医療援助活動に参加するためには、その専門分野ではプロフェッショナルでなくてはなりません。預けられた命のゆくえが、自分の判断で決まってしまいます。つぎつぎと患者が搬送される緊迫した場面では、判断に時間をかけることもできません。

援助が必要な地域では医療器具も十分にはありません。わたしが派遣されたスリランカの国境なき医師団の病院は900床近い大きな病院でしたが、レントゲン撮影機が1台、古い超音波検査器が1台だけで診断をしなければなりませんでした。…非医療系のスタッフについても同じです。…職種にかかわらず、スタッフには人としての度量の広さや精神面の強さが求められます。

自然環境や社会環境のまったく異なる現場で、初対面の人たちとチームとしてはたらかなくてはなりません。紛争地域で活動をするばあいには、自身の生命に危険がおよぶリスクとなり合せです。

お互いの意見を尊重しつつ、自分の意見やかんがえも伝えられるコミュニケーション力をもち、さまざまなストレスにも耐えていかなければなりません。そして、欲をいうならば、過酷な現場でも、料理、音楽、ダンス、スポーツやゲームなどを楽しむ余裕があると、毎日を仲間とともに乗り越えることができます。

世界で起きている「人道的危機」を知ることから援助がはじまる

アフリカでは数年に一度干ばつにみまわれます。…紛争が長期化している国では、戦闘に巻き込まれて命を落とす人が絶えません。避難する途中で、幼い子どもが亡くなっています。

治安が極度に悪化していて医療体制も崩壊しているため、病気やけがをしてもすぐに治療を受けることができません。…このように、過酷な自然環境や、自然災害、紛争、貧困などによって、本来ならば助かるはずの人の命が脅かされる状況を「人道的危機」と呼びます。わたしたちは、世界ではこのような人道的危機によって苦しんでいる人びとがたくさんいることを忘れてはいけません。…知ることから、そのような人たちへの支援の第一歩が始まります。

医療・人道援助の必要がなくなる日に向かって

わたしは、これまでにさまざまな国、地域で医療援助活動をおこなってきました。そのそれぞれに忘れられない患者さん、忘れない仲間がいます。…みなさんには、いろいろな夢があるはずです。将来、人道援助の活動をしたいと思っている人がいたら、とてもうれしく思います。

まったくちがう分野に進んだとしても、世界には死に直面している人々がたくさんいることを忘れないでいることがいちばん大切なことです。その気持ちは、なにかが起ったときに、有効な行動を起こす原動力となります。…わたしたちには遠い国や地域のできごとのように思えるかもしれません。しかし、空や海はつながっているのです。…東日本大震災では、多くの国が支援と応援にメッセージを送ってくれました。わたしたちは、忘れないこと、よりそつてくれている人がいることの心強さを、身をもって知りました。

「忘れないこと」「よりそう気持ちをもつこと」が世界を平和にし、医療・人道援助の必要がなくなる日を実現させると信じています。

(国境なき医師団日本 編著『妹は3歳、村にお医者さんがいてくれたなら。-わたしたちが900万人の人々に医療を届けるわけ-』(2013年)より抜粋)

